



江戸 東京百景

同時開催：ジュゼッペ・デ・フランチェスコ「東京百」
2017年11月28日（火）－2018年2月4日（日）

Part 1／2017年11月28日（火）－12月27日（水）
Part 2／2018年1月5日（金）－2月4日（日）

主催：静岡市東海道広重美術館（指定管理者：特定非営利活動法人ヘキサプロジェクト）

広重が本格的に風景版画を手がけはじめたのは、天保初年（1830）頃に自身が暮らす江戸の風景を描いた『東都名所』だと言われています。それから約25年、数多くの作品を残してきた広重が最晩年にいどんだのが『名所江戸百景』です。全120点（目次、二代作品含む）にも及ぶ大作の中には、ゴッホやモネといった海外の画家たちに影響を与えた作品もあり、これまで国内外の多くの人々に影響を与えてきました。『名所江戸百景』の刊行から約10年後、「江戸」は「東京」へとその呼び名を変えます。広重が残した最後の「江戸」の風景をお楽しみください。

同時開催として小展示室では、イタリア人写真家ジュゼッペ・デ・フランチェスコの「東京百」を開催します。広重の『名所江戸百景』のオマージュとして作られたこのシリーズの制作風景は、テレビ番組「YOUは何しに日本へ？」（2017年3月6日放送/テレビ東京）で紹介され話題を呼びました。

広重とフランチェスコ、二つの視点により江戸と東京の今と昔をつなぎます。



静岡市東海道広重美術館
SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM of ART

PRESS RELEASE

■ 展覧会のみどころ

ゴッホが模写した広重の傑作

「ひまわり」や「夜のカフェテラス」で知られるオランダの画家ファン・ゴッホは浮世絵の熱心なコレクターとしても有名で、ジャポネズリー（日本趣味）と題した浮世絵の模写作品を残しています。無数に降り注ぐ墨の線で表現された勢いのある雨と、急な雨に先を急ぐ橋上の人々が見る者に音や動きを感じさせる「大はしあたけの夕立」、手前の景色を極端に大きく描いた大胆な遠近表現と、赤と緑のコントラストが目を引き「亀戸梅屋敷」。ゴッホが魅了された『名所江戸百景』の逸品をご覧ください。



Part 1 展示作品
歌川広重『名所江戸百景 大はしあたけの夕立』当館蔵



Part 2 展示作品
歌川広重『名所江戸百景 亀戸梅屋舗』当館蔵

関連企画1 / ジュゼッペ・デ・フランチェスコ アーティストトーク

- 講師：ジュゼッペ・デ・フランチェスコ
- 日時：12月3日(日) 13:00～13:30
- 参加費：無料 ※入館料別途
- 当日当館エントランスホールにお集まり下さい。(申込み不要・定員制限無)

関連企画3 / 当館学芸員によるギャラリートーク

- 日時：12月10日(日)、1月21日(日) 13:00～13:30
- 参加費：無料 ※入館料別途
- 当日当館エントランスホールにお集まり下さい。(申込み不要・定員制限無)



静岡市東海道広重美術館
SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM of ART

PRESS RELEASE

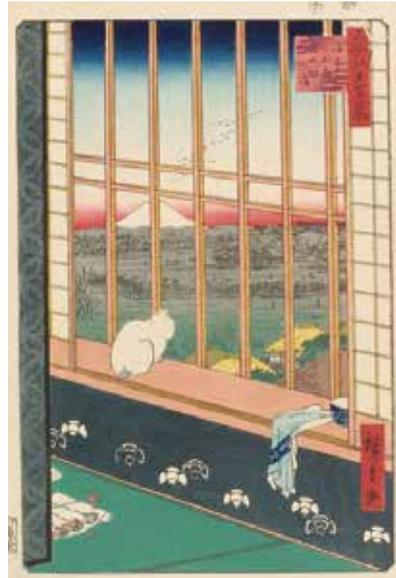
■ 展示作品

『名所江戸百景』シリーズ（全120点の内、107点を各会期にて展示）

名所絵や風景画を多く描いた歌川広重の集大成ともいえる最晩年の名作です。安政三年(1856)から順次刊行され、はじめは題名通り百図を目標にしていたようですが、出版開始の翌年にはすでに100図に達し、評判となってその後も広重が没する安政五年(1858)まで刊行され続けました。広重の署名のある作品が118点、これはひとりの絵師が描いた浮世絵のシリーズとしては最大級のもので、二代広重の署名がある「名所江戸百景 赤坂桐畑 雨中夕けい」、梅素亭玄魚(ばいそていげんぎょ)のデザインによる目録「一立齋廣重一世一代江戸百景」を加えての、全120点となります。本展ではその中から107点の作品を展示します。



Part 1展示作品
歌川広重
『名所江戸百景 浅草金龍山』
当館蔵



Part 1展示作品
歌川広重
『名所江戸百景 浅草田圃西の町詣』
当館蔵



Part 1展示作品
歌川広重
『名所江戸百景 亀戸天神境内』
当館蔵



Part 2展示作品
歌川広重
『名所江戸百景 真崎邊より水神の森内川関屋の里を見る圖』
当館蔵



Part 2展示作品
歌川広重
『名所江戸百景 亀戸梅屋舗』
当館蔵



Part 2展示作品
歌川広重
『名所江戸百景 びくにはし雪中』
当館蔵



静岡市東海道広重美術館
SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM of ART

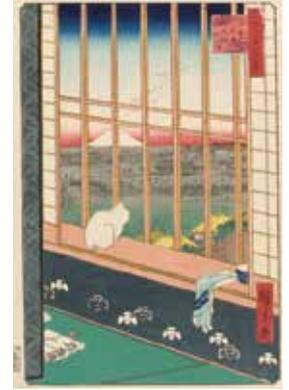
PRESS RELEASE

■同時開催：ジュゼッペ・デ・フランチェスコ「東京百」

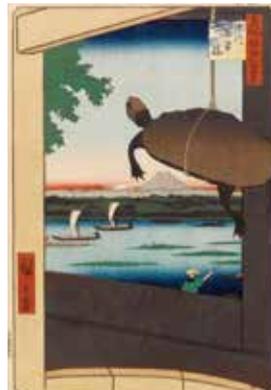
ジュゼッペ・デ・フランチェスコの「東京百」は、テレビ番組「YOUは何しに日本へ？」(2017年3月6日放送/テレビ東京)で紹介されたプロジェクト。広重の『名所江戸百景』のオマージュとして現代の東京の風景を写真で再現したシリーズです。風景画の巨匠広重を相手に、約2年間にわたり東京中を駆け巡り制作されたこのシリーズは、ひたすらに広重の影を追い求めたイタリア人作家の視点によるユーモアとオリジナリティあふれる作品です。本展ではシリーズ119点の内、約60点を展示します。



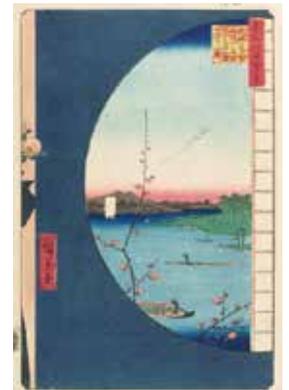
Part 1展示作品(左)
ジュゼッペ・デ・フランチェスコ
『東京百 御殿やまのち台場』



Part 1展示作品(右)
ジュゼッペ・デ・フランチェスコ
『東京百 豊島池袋猫のカフェ詣』



Part 2展示作品(左)
ジュゼッペ・デ・フランチェスコ
『東京百 谷中萬年束子』



Part 2展示作品(右)
ジュゼッペ・デ・フランチェスコ
『東京百 中銀より汐留の庭
浜の離宮を見る図』

■作家紹介

1982年イタリア、ミラノ生まれ。ミラノ工科大学 デザイン学部卒。
主にイタリアのファッション、建築分野で著名な写真家とのコラボレーション作品を手がける。様々な都市に住み、現在は個人のリサーチや商業プロジェクトのため世界各地で活躍している。
彼の捉える映像は、洗練されたスタイルの探求であり、自身が追求するフォトグラフィックなリサーチに焦点をあてたものである。私たちを取り巻く環境は、受け継がれてきた文化と形作られる未来の継続した対話の中にあると考え、空間や場所の記憶と文化的アイデンティティとの繋がりを表現した作品を制作している。

- TOKYO HYAKU (東京百) プロジェクト
<http://tokyohyaku.com>
- 「YOUは何しに日本へ？」(テレビ東京)
<http://www.tv-tokyo.co.jp/youhananishini/backnumber/170306.html>



静岡市東海道広重美術館
SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM of ART

PRESS RELEASE

■美術館概要

静岡市東海道広重美術館

静岡市東海道広重美術館は、江戸時代の浮世絵師、歌川広重の名を日本で最初に冠した美術館です。広重の代表作『東海道五拾三次之内』（保永堂版東海道）、『名所江戸百景』など、風景版画の揃物の名品を中心に約1400点を収蔵しています。浮世絵と現代作品をつなぐ企画展を開催するなど、「新たな浮世絵文化」の発信に力を入れています。



広重について

歌川広重(1797 - 1858) 浮世絵師

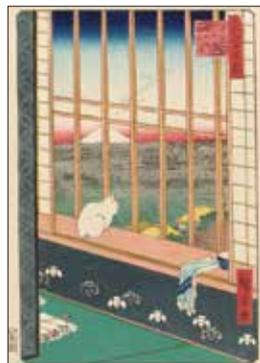
15歳頃に歌川豊広に入門。保永堂から刊行された『東海道五拾三次之内』が大好評となり、その後も風景を描いた浮世絵を制作し、名所絵師として名を馳せました。晩年の集大成ともいえる『名所江戸百景』を制作中、病に倒れ62歳の生涯を閉じました。広重の大胆な構図や抒情性豊かな作風は万人に愛され、国内外の作家に影響を与えています。

■広報用画像提供のご案内

展覧会広報用として下記5点のデジタルデータをご用意しております。ご希望の場合はメールまたはファックスにてお申込みください。



1



2



3



4



5

□作品名およびクレジット

- | | |
|--------------------------|--|
| 1. 展覧会ポスターイメージ | ©Shizuoka City Tokaido Hiroshige Museum of Art |
| 2. 歌川広重 | 『名所江戸百景 浅草田甫西の町詣』静岡市東海道広重美術館蔵 |
| 3. 歌川広重 | 『名所江戸百景 真崎邊より水神の森内川関屋の里を見る圖』静岡市東海道広重美術館蔵 |
| 4. Giuseppe De Francesco | 『東京百 豊島池袋猫のカフェ詣』 |
| 5. Giuseppe De Francesco | 『東京百 中銀より汐留の庭 浜の離宮を見る図』 |

〈使用条件〉

※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等をご遠慮ください。

※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。

※ご使用の際には、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送りください。

※弊館での広報実績資料とさせていただくため、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどお送りいただければ幸いです。



静岡市東海道広重美術館
SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM of ART

江戸 東京百景

同時開催 : ジュゼッペ・デ・フランチェスコ「東京百」

広報用画像データ申込書

静岡市東海道広重美術館 広報担当 行

FAX.054-375-5321 E-mail: info@tokaido-hiroshige.jp

■ご希望の作品番号にチェックをつけてください

1. 展覧会ポスターイメージ
2. 歌川広重 『名所江戸百景 浅草田甫西の町詣』
3. 歌川広重 『名所江戸百景 真崎邊より水神の森内川関屋の里を見る圖』
4. Giuseppe De Francesco 『東京百 豊島家池袋猫のカフェ詣』
5. Giuseppe De Francesco 『東京百 中銀より汐留の庭 浜の離宮を見る図』

貴社名:

媒体名:

ご担当者名:

TEL:

FAX:

E-mail:

画像到着希望日: 月 日 時頃 ※指定可能時間 10:00~16:00

掲載予定日(コーナ名): 月 日

〈使用条件〉

※作品写真の使用目的は、本展ご紹介とさせていただきます。本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

※ご使用の際には、画像トリミングや別と合成文字乗せ等遠慮ください。

※各画像のキャプション及びクレジットを記名上、ご使用ください。

※ご使用の際には、お手数ですが校正紙を Eメール添付にて担当までお送りください。

※弊館での広報実績資料とさせていただきます。後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録の DVD、CD などお送りいただければ幸いです。

本プログラムをご紹介いただく際は、連絡お願いします。

TEL.054-375-4454/FAX.054-375-5321 info@tokaide-hiroshige.jp



静岡市東海道広重美術館

SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM of ART



開館時間：午前9時～午後5時（入館は閉館の30分前まで）

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館、翌平日休館）

入館料：一般510円（410円）

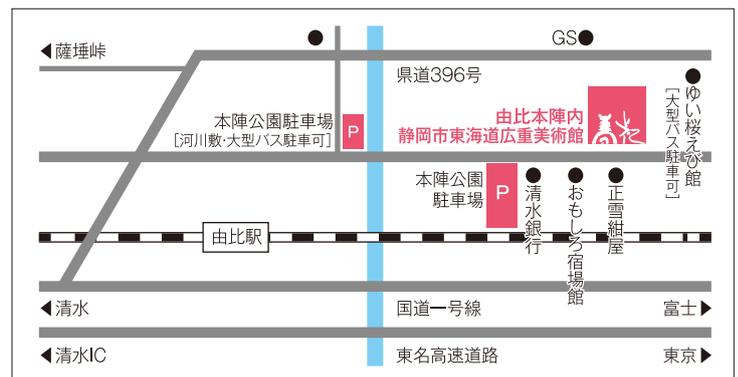
大学生・高校生300円（240円）

中学生・小学生120円（100円）

※静岡市在住または通学している中学生以下及び、
静岡市在住の70才以上の方は無料

※身体障害者手帳等をご持参の方及び介助者は無料

※（ ）は20名以上の団体料金



【交通案内】

■電車をご利用の場合

JR東海道本線「由比」駅下車後 徒歩25分、タクシー5分

■お車をご利用の場合

美術館無料駐車場21台（由比本陣公園駐車場）

□大阪・名古屋方面から

東名高速【清水I.C.】から国道1号経由約20分

□東京・横浜方面から

東名高速【富士I.C.】から国道1号経由約25分

本展覧会及びプレスリリースに関するお問い合わせ

Tel 054-375-4454

Fax 054-375-5321

info@tokaido-hiroshige.jp

静岡市東海道広重美術館

〒421-3103 静岡県静岡市清水区由比297-1

[URL] www.tokaido-hiroshige.jp

[facebook] www.facebook.com/tokaido.hiroshige



静岡市東海道広重美術館

SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM of ART